

---

## 「頭部外傷を含めた脳血管疾患に対する治療成績についての検討」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2024年3月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、頭部外傷（硬膜下血腫、硬膜外血腫など）を含めた脳血管疾患（脳出血、くも膜下出血、脳動静脈奇形、脳動脈瘤、もやもや病など）と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

重症頭部外傷や脳卒中は致命率が高く重篤な疾患です。降圧薬などの進歩によりその発症率は低下していますが、現在でも多くの患者さんがそれらの疾患の後遺症で苦しんでいます。当院ではよりよい治療法を検討するため、これまでのデータを使用して最適な治療法の開発や術者教育、予後に関わる因子を検討しようとしています。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2024年12月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科で治療を行った頭部外傷を含めた脳血管疾患の患者さんの診療記録、手術記録から収集した年齢や性別、既往歴などの背景、及び来院時の重症度や病変の部位・サイズ、手術の情報、合併症、予後など

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である武裕士郎が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

頭部外傷（硬膜下血腫、硬膜外血腫など）を含めた脳血管疾患（脳出血、くも膜下出血、脳動静脈奇形、脳動脈瘤、もやもや病など）と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用い

ます。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 武裕士郎

研究担当者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 武裕士郎

研究担当者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 鈴木海馬

研究担当者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 栗田浩樹

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 武裕士郎

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4177（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：頭部外傷を含めた脳血管疾患に対する治療成績についての検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 武裕士郎